

令和7（2025）年度 大阪府識字・日本語教室 活動状況調査 調査票

<おねがい>

この調査は、大阪府内のすべての識字・日本語教室を対象におこなうものです。目的は、教室における活動状況の詳細な実態を把握し、現場の課題やニーズを明らかにすることによって、各教室の活動をいっそう充実させるための支援につなげていくことです。そのために、4年に1度実施しています。的確な支援や施策をおこなうには、すべての教室にお答えいただくことがきわめて重要です。なにとぞ、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

○ 調査結果の取扱いについて

- ・この調査で得られました情報の集計にあたっては、教室名や個人名を特定できないよう配慮します。
- ・集計結果は、大阪府ホームページに掲載します。また、教室の基本情報は、大阪府が行う識字・日本語事業の案内や、識字・日本語学習に有益と思われる情報を提供するために利用させていただくことがあります。
- ・この調査で得られた情報のうち、1・4・5・6の基本情報を「識字・日本語センター」ホームページのコンテンツ「教室をさがす」にて紹介させていただきます。

上記をご理解いただいたうえ、質問におすすみください。

しめきりは、令和7（2025）年10月31日（金曜日）とさせていただきます。

[この調査に関する問合せ先]

大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課

担当 澤野 昌史

〒540-8571 大阪府中央区大手前2丁目

TEL 06-6944-9372 FAX 06-6944-6902

E-mail SawanoM@mbx.pref.osaka.lg.jp

回答時点の状況にそくして、次の1～22の質問にお答えください。
ご記入いただける範囲で結構です。

【PCなどで入力される場合】

1～22のお答えは、セル番号がずれないように枠内に入力ください。
○を記入いただくところは、リスト上から選択してください。
(セルをクリックすると▼マークが出ます。▼マークをクリックすると○がでてきます)

〔質問項目〕

1 教室の名称 (ふりがな)

ふりがな	
名称	

2 教室の位置づけについて

①次のア～ウのいずれかに○をつけてください。

ア 識字教室 イ 日本語教室 ウ 識字・日本語教室

3 教室の運営形態について

①教室の設置者と運営形態について、次のア～カのいずれかに○をつけてください。
(カに○をつけた場合は、どのような形態で運営しているか記入してください)

- ア 行政が主催・運営
イ 行政が主催し、民間が協力
ウ 行政からの委託で運営 (含む指定管理者制度)
エ 民間が主催・運営
オ 民間が主催し、行政が協力
カ その他 →

4 教室の連絡先等について

- ①主催団体名
②代表者または担当者名
③電話番号
④FAX番号
⑤Eメールアドレス

※集計結果の公表にあたり、個人名を大阪府ホームページに掲載することはありません。個人名は、教室に連絡を取る場合に用います。

⑥電話で問い合わせをする場合、可能な曜日と時間帯を記入してください。

(例) 水曜日 午後7時から午後9時
<input type="text"/>

⑦ホームページアドレス

5 教室の開催場所・開催時間について

- ①開催場所（施設・会場）名
- ②所在地の住所
- ③最寄り駅・バス停 駅・バス停からの距離 メートル
- ④開催場所の電話番号
- ⑤開催時間
（○時から△時まで）
- ※ 曜日ごとに開催時間が異なる場合は、全て記入してください。
（記入例：火曜日 午後6時から午後8時、土曜日 午前10時からお昼12時）

6 教室の開催状況について

- ①教室を開催している期間について、次のア・イのいずれかに○をつけてください。
- ア 年間を通じて開催
- イ 期間を限定して開催（1年間の内、一部期間のみ開催） → ②をとばして質問③へ
- ②開催している曜日と時間帯に○をつけてください。

	月	火	水	木	金	土	日
午前8時から お昼12時	<input type="text"/>						
お昼12時から 午後6時	<input type="text"/>						
午後6時から 午後10時	<input type="text"/>						

- ③教室での1回あたりの活動時間について、次のア～カのいずれかに○をつけてください。
- ア 1時間（60分）未満
- イ 1時間（60分）以上 1時間半（90分）未満
- ウ 1時間半（90分）以上 2時間（120分）未満
- エ 2時間（120分）以上 2時間半（150分）未満
- オ 2時間半（150分）以上 3時間（180分）未満
- カ 3時間（180分）以上

- ④夏休み等、複数回連続休暇について、次のア～カのうち設定しているものに○をつけてください。
（複数回答可。オに○をつけた場合は、どのような長期休暇を設定しているか記入してください）
- ア 春休み イ ゴールデンウィーク
- ウ 夏休み エ 年末年始
- オ その他（ア～エ以外に設定している複数回連続休暇） →
- カ 複数回連続休暇は設定していない（期間を限定して開催している教室を含む）

7 学習者・学習支援者の募集状況について

学習者	受入可	人	申込方法・要件など
	受入不可		今後の見通し
学習支援者	受入可	人	申込方法・要件など
	受入不可		今後の見通し

8 学習者について ※ 回答作成時の在籍者（登録者）数を記入ください。
 ※ 性別は、普段からの本人の性自認にもとづいて回答してください。

①学習者の人数を記入してください。

合計	男	女	自由記述	無回答
0				

②学習者の受入れについて、何歳から行っていますか。次のア～カのいずれかに○をつけてください。
 （カに○をつけた場合は、具体的に記入してください）

ア 特に決めていない（年齢の制限は設けていない）

イ 12歳以上（中学生以上） ウ 15歳以上（高校生以上）

エ 18歳以上 オ 20歳以上

カ その他 →

③上記①の学習者について、出身の国または地域、学習者数、年齢等を記入してください。
 ※ 欄がたりない場合は、シートの保護を解除し、行を挿入して増やしてください。
 ※ 最下行の合計欄にも記入してください。
 ※ 性別欄の3段めは、自由記述欄になっています。

出身の国 または地域	性別	年齢									計		
		0~15	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	不明	別計	計
日本	男											0	0
	女											0	
	自由記述											0	
	無回答											0	
	男											0	0
	女											0	
	自由記述											0	
	無回答											0	
	男											0	0
	女											0	
	自由記述											0	
	無回答											0	

	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
	男女												0	
	自由記述												0	0
	無回答												0	
合計	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自由記述	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9 教室での活動内容について

①活動内容について、次のア～セの中で該当するものがあれば、○をつけてください。
 (複数回答可。セに○をつけた場合は、どのような活動をしているか記入してください)

- ア 日本語の読み書きの初歩
- イ 日本語でのおしゃべり (話す・聞く)
- ウ 普段の暮らしに必要な事柄 (公共交通機関の利用方法・事故や災害への備えなど) の学習
- エ 仕事に必要な事柄 (電話対応・敬語・履歴書の書き方など) についての学習
- オ 生い立ちなどをふりかえって綴っていく活動
- カ さまざまな国や地域の文化を知る活動
- キ 教室外の活動 (遠足・社会見学など)
- ク 季節の行事 (七夕・節分など)
- ケ 社会問題 (新聞記事・ニュースなど) に関する学習
- コ 人権や差別に関する学習
- サ 作品制作 (文集・俳句・絵・料理など)
- シ 資格取得のための学習
- ス 日本語能力試験のための学習
- セ 学校の勉強の予習や復習
- ソ その他 →

10 教室での学習形態について

①主に取り入れている学習形態について、次のア～オの中で該当するものに○をつけてください。

- ア 1対1での学習
- イ グループ学習 → |グループの人数 人
- ウ 全体で話し合ったり活動したりする学習
- エ 一斉学習 (いわゆる講義形式)
- オ その他 → どのような学習形態ですか

②オンラインでの学習活動について、次のア～エのいずれかに○をつけてください。
 (イに○をつけた場合は、実施予定月を記入してください)

- ア 現在、実施している
 - イ 実施する予定 → 月ごろから実施
 - ウ 実施したいができない
 - エ 実施する予定はない
- } 質問③へ

③「実施したいができない」「実施する予定はない」と回答した理由として、次のア～ケの中で該当するものに○をつけてください。

(複数回答可。ケに○をつけた場合は、具体的な理由を記入してください)

- ア 対面形式での学習が重要であると考えため
- イ オンライン学習を導入する方法が分からないため
- ウ 教室でオンライン学習の機材(パソコン・WEBカメラ等)を整備することが難しいため
- エ 教室の通信環境(wi-fi等)が整っていないため
- オ 学習支援者にとって機材を用意することが難しいため
- カ 学習支援者にとって機材の設定等、オンライン学習の環境設定が難しいため
- キ 学習者にとって機材を用意することが難しいため
- ク 学習者にとって機材の設定等、オンライン学習の環境設定が難しいため
- ケ その他 →

II 使用している学習教材について

①主に使用している学習教材について、次のア～トの中で該当するものに○をつけてください。
(複数回答可。ア・ニに○をつけた場合は、どのような教材を使用しているか記入してください)

A 教室や普段のくらしから生まれた学習教材

- ア 教室・学習支援者自作の教材 →
- イ 文集
- ウ 新聞・雑誌の切り抜き
- エ スーパーなどのチラシ
- オ 観光地などのガイドブック
パンフレット
- カ 行政の広報誌

B 大阪における取組から生まれた学習教材

- キ きいて まねして はなして
「わたしたちが語る」20のエピソード
- ク 話して 書いて 伝え合う
私のこと・あなたのこと
- ケ あいう絵おしゃべり
カキクケコラム
- コ もっとしゃべろ
～自分でつくる学習ノート～
- サ にほんご春夏秋冬
現代生活・日本語カタログ
- シ みんなの漢字
- ス 日本語指導教材「こんにちは」
- セ えんぴつポスター(作文)

C その他(行政作成教材、市販教材など)

- ソ 文化庁5点セット
- タ 日本語学習サイト
つながるひろがる にほんごでのくらし
- チ 小・中学校の教科書
- ツ 小・中学生用の問題集やドリル
(漢字ドリルなど)
- テ みんなの日本語
- ト にほんごこれだけ!
- ナ 日本語能力試験対策用教材
- ニ その他 →

14 学習支援者について ※ 回答作成時の在籍者（登録者）数を記入ください。
 ※ 性別は、普段からの本人の性自認にもとづいて回答してください。

①学習支援者の人数を年齢ごとに記入してください。

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	不明	計
男										0
女										0
自由記述										0
無回答										0
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※上記①で記入した学習支援者のうち、質問②～⑤に該当する人数をそれぞれ記入してください。
 （複数回答可）

②これまでに学習支援者養成講座（大阪府や各市町村、国際交流協会、教室等で実施しているボランティア養成講座）に参加した人数

人

③もと学習者であった方の人数

人

④母語が日本語でない方の人数

人

⑤日本語教師養成講座（文化庁に届出受理された420時間以上の日本語教師養成講座）の受講済人数

人

15 教室のコーディネーター（まとめ役）や学習支援者への謝金・交通費について

①コーディネーターに、謝金や交通費が支払われていますか。該当するものに○をつけてください。

謝金が 支払われている → 質問②へ 支払われていない

交通費が 支払われている → 質問③へ 支払われていない

②コーディネーターへの1回あたりの謝金額を記入してください。

謝金 円

③コーディネーターへの交通費の支払いについて、次のア・イのいずれかに○をつけてください。
 イに○をつけた場合は、1回あたりの金額を記入してください。

交通費 ア 実費 イ 定額 円

④学習支援者に、謝金や交通費が支払われていますか。該当するものに○をつけてください。

謝金が 支払われている → 質問⑤へ 支払われていない

交通費が 支払われている → 質問⑥へ 支払われていない

⑤学習支援者への1回あたりの謝金額を記入してください。

謝金 円

⑥学習支援者への交通費の支払いについて、次のア・イのいずれかに○をつけてください。

イに○をつけた場合は、1回あたりの金額を記入してください。

交通費 ア 実費 イ 定額 円

⑦謝金や交通費の支払いについて、その他特記すべき事項があれば記入してください。

16 学習支援者の募集方法について

①学習支援者の募集方法について、次のア～キの中で該当するものに○をつけてください。
(複数回答可。キに○をつけた場合は、具体的な募集方法を記入してください)

- ア 行政の広報誌やホームページ
- イ 教室の広報誌やチラシ
- ウ 教室のホームページやSNS
- エ 自治会など市町村のさまざまな団体を通じた人的ネットワーク
(外部団体のホームページ・外部団体からの紹介含む)
- オ 学習支援者や学習者の口コミ
- カ 学習支援者養成講座 (ボランティア養成講座)
- キ その他 →

17 各種研修について

①教室の外部で行われた研修に参加したことがありますか、該当するものに○をつけてください。

- ア 参加した学習支援者がいる → 質問②へ
 - イ 参加した学習支援者はいない
 - ウ 把握していない
- } 質問③へ

②参加した研修を記入し、該当するものに○をしてください。

研修名

主催 ア 大阪府 イ 市町村 ウ 他の教室
エ その他 →
(その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください)

内容

③学習支援者への研修の実施について、次のア～ウの中で該当するものに○をつけてください。
(複数回答可)

- ア 教室独自で実施
 - イ 他の教室と合同で研修を実施
 - ウ 実施していない → 質問⑤へ
- } 質問④へ

④実施した研修を記入し、該当するものに○をしてください。

研修名

内容

経費について 参加者から 教室運営費から 行政から
 その他 →
(その他に○をつけた場合は、経費の捻出について具体的に記入してください)

⑤教室の外部で行われた人権研修に参加したことがありますか、該当するものに○をつけてください。

- ア 参加した学習支援者がいる → 質問⑥へ
 イ 参加した学習支援者はいない
 ウ 把握していない
- } 質問⑦へ

⑥参加した人権研修で取り上げていたテーマについて、該当するものに○をつけてください。
 (複数回答可)

- テーマ (複数回答可) 部落差別 高齢者 在日外国人
 子ども ジェンダー平等 性の多様性 (LGBT等)
 障がい者 人権侵害への対応
 その他 →
 (その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください)

- 主催 ア 大阪府 イ 市町村 ウ 他の教室
 エ その他 →
 (その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください)

⑦教室での人権研修について、次のア～ウの中で該当するものに○をつけてください。
 (複数回答可)

- ア 教室独自で実施
 イ 他の教室と合同で研修を実施 } 質問⑧へ
 ウ 実施していない → 「18 教室の運営やコーディネーターについて」へ

⑧実施した人権研修について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

- 研修参加者 学習者 学習支援者
 その他 →
 (その他に○をつけた場合は、具体的な対象者を記入してください)

- テーマ (複数回答可) 部落差別 高齢者 在日外国人
 子ども ジェンダー平等 性の多様性 (LGBT等)
 障がい者 人権侵害への対応
 その他 →
 (その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください)

- 経費について 参加者から 教室運営費から 行政から
 その他 →
 (その他に○をつけた場合は、経費の捻出について具体的に記入ください)

- 実施回数 1回 2～3回 4回以上

- 実施形式 (複数回答可) 講義・講演会 ワークショップなどの参加・体験型学習
 施設見学等 その他 →
 (その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください)

18 教室の運営やコーディネーターについて

※コーディネーター＝教室活動全体のとりまとめや支援者と学習者のマッチングなどを行う人

①教室には運営委員会など、複数の人たちによって定期的に行われる組織や会議がありますか。

ア ある → ②③へ

イ ない → ④へ

②運営委員会のメンバーについて、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

学習者

学習支援者

地域住民

行政関係者

施設関係者

その他

→

（その他に○をつけた場合は、具体的に記入してください）

③運営会議を開いた回数について、該当するものに○をつけてください。

毎週

毎月1回

季節ごとに1～2回

1年に1～2回

④教室のコーディネーターまたは同等の役割を担う人について、次のア～ウの中で該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

ア 固定のコーディネーターがいる

イ 一定の期間で交代するコーディネーターがいる
（行政職員・指定管理職員がコーディネーターとなっている場合を含む）

ウ コーディネーターはいない

19 教室の広報について

①教室の情報をどのように広報していますか。次のア～カの中で該当するものに○をつけてください。
（複数回答可。カに○をつけた場合は、具体的な広報手段を記入してください）

ア 行政の広報誌やホームページ

イ 教室の広報誌やチラシ

ウ 教室のホームページやSNS

エ 自治会など市町村のさまざまな団体を通じた人的ネットワーク
（外部団体の広報誌やホームページを通じた周知・広報も含む）

オ 学習支援者や学習者の口コミ

カ その他

→

20 行政等に求めたい支援について

①今後、行政等に求めたい支援について、次のア～コの中で該当するものに○をつけてください。
(複数回答可。サに○をつけた場合は、どのような支援を求めているか記入してください)

- ア 学習支援者の情報提供
- イ 学習教材の提供や学習教材に関する情報提供
- ウ 学習教材の多言語化
- エ 学習教材のデジタル化（音声言語化など）
- オ 他の教室のすぐれた取組の紹介
- カ 学習支援者の研修機会提供
- キ 総合的・系統的な学習・教育制度の整備
- ク 教室の情報を広く住民に知らせる
- ケ 識字・日本語の学習や活動の方法について、相談窓口を整備する
- コ 教育・福祉・労働・生活等の相談窓口の紹介、情報提供
- サ その他 →

21 教室を運営していく上での課題について

①教室運営や学習支援活動の課題について、次のア～セの中で該当するものに○をつけてください。
(複数回答可。セに○をつけた場合は、具体的に記入してください)

- ア 学習支援者の人数が不足している (学習支援者の確保)
- イ 学習者が不足している (学習者の確保)
- ウ 学習支援者が高齢化している
- エ 費用が不足している
- オ 学習者と学習支援者のマッチングが難しい
- カ 学習支援者への研修機会が不足している
- キ 教室の周知・広報が不足している (できていない)
- ク 学習教材が不足している
- ケ 多様化 (国・レベル・ニーズ等) する学習者への対応が難しい
- コ 学習者が流動的である (学習者が定着しない)
- サ 学習支援者が流動的である (学習支援者が定着しない)
- シ 人権意識をどう向上させるか
- ス 学習場所の確保が難しい
- セ 学習者から日常生活等に関する相談を受けることがある

どのような相談内容ですか →

ソ その他 →

タ 特にない

②学習者が困っていることについて、記入してください。

22 教室活動で大切にしていることなどについて

教室活動の理念や、活動していく上で大切にしていることなど記入してください。